



農業会議情報

Shizuokaken nougyoukaigi report

★主な内容★

- | | |
|---|------------------------------|
| I 農政対策ニュース
＜全国農業委員会会長大会に本県から 23 人が参加
全国農業委員会会長大会後に塩谷立総務会長に要請活動＞ | IV 情報のページ
＜新聞・出版(新刊)の案内等＞ |
| II 組織の動き
＜5月の常任議員会議等会議開催状況＞ | V 今後の日程 |
| III 農業者年金のページ
＜市町の新規加入者状況 他＞ | |

1 農政対策ニュース

◇全国農業委員会会長大会に本県から 23 人が参加

～第 4 回耕作放棄地発生防止・解消活動表彰で袋井市農業委員会が「全国農業会議所会長賞」受賞！～ 翌日は現地視察&農政懇談を実施。

全国農業委員会会長大会（全国農業会議所主催）が5月31日、東京都千代田区の日比谷公会堂で開かれた。全国から約2,000人が集まり、本県からは黒田淳之助県農業会議会長を含む23人の農業委員会会長等が参加した。



本県の参加者

大会に先立ち行われた第4回耕作放棄地発生防止・解消活動表彰では、袋井市農業委員会が上位第4賞に当たる「全国農業会議所会長賞」を受賞した。

大会は被災した方々への黙祷からはじまり、議事では①持続可能な力強い農業の現実と農村の再生に向けた提案、②TPP参加撤回を求める要請、③農業委員会活動の「さらなる取り組み」に関する申し合わせ、④「情報提供活動」の一層の強化に関する申し合わせ、⑤全国農業委員会会長大会実行運動計画の5つを決議した。

その他、①秋田県横手市農業委員会が男女共同参画の取り組みについて、②富山県入善町農業委員会が「人・農地プラン」の取り組みについて、③香川県東かがわ市農業委員会が耕作放棄地対策の取り組みについて、それぞれ実践報告と決意表明をした。

【塩谷立総務会長に代表要請及び本県選出国會議員に陳情】

大会終了後には、大会出席者による政府、各政党への代表要請を行った。本県は参加者全員で、塩谷立総務会長（自民・比例）と面談し、黒田会長から要請書を手渡し、全国農業会議所 伊藤事務局長代理とともに要請内容の早期実現に加え、茶の価格低迷や鳥獣害への対策を訴えた。要請に対し、塩谷総務会長は「『持続可能な力強い農業の実現』は大切なこと。これからは一律の農政ではなく、地域性を活かす農政が重要だ。静岡県農業はもっと頑張れる。収益の得られる農業を目指してともに頑張りたい。」と述べた。

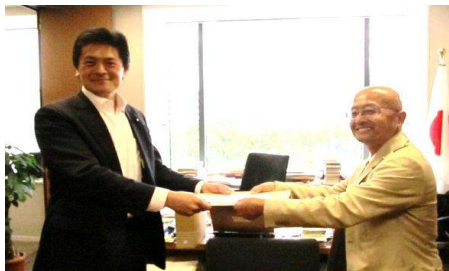
その後3班に分かれて本県選出の国會議員に個別に陳情を行った。



全国農業会議所会長賞を受賞される袋井市永田会長



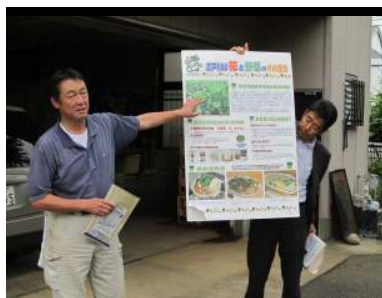
塩谷自民党総務会長へ代表要請する様子



岩井議員に要請書を手渡す様子

会長大会の翌日の6月1日には本県参加者で①江戸川区のコマツナ農家（真利子伊知郎氏）、②農業界×産業界×学界が連携し、来年春から運営を開始する日本農業経営大学校などの事業を展開するアグリフューチャージャパンの取り組み（常務理事兼事務局長 戸山章弘氏）と小山展弘衆議院議員との農政懇談、③首都圏にお

ける緑茶消費動向について（(株)茶の君野園 代表取締役 君野信太郎氏）の3か所を訪れ、話を聞いた。小山議員との農政懇談では、大規模農家だけでなく様々な農家によって日本の農業が守られていることや、青年就農給付金の不足などの現状を訴えた。



説明する、コマツナ農家 真利子伊知郎氏



農政懇談の様子。左から小山議員、戸山常務理事、長谷川マネージャー



東京茶業会館で君野氏から話を聞く参加者

II 組織の動き (H24.5~H24.6)

◆ 5月の常任会議員会議

県農業会議は5月22日、静岡市葵区追手町の静岡中央ビルで定例の常任会議員会議を開いた。議事等の内容は次のとおりで、下表の農地法に基づく諮問案件について、許可相当として答申した。

【議事】

□ 農地法に基づく知事諮問

区 分	農 地 法			
	4 条		5 条	
	諮問件数	面積 m ²	諮問件数	面積 m ²
静 岡 県	9	10,659	27	9,148
三 島 市	1	89	3	9,967
沼 津 市	0	0	3	2,767
富 士 市	3	5,871	1	25
富士宮市	1	301	2	2,068
静 岡 市	0	0	9	3,848
島 田 市	1	266	13	20,940
焼 津 市	4	1,195	2	3,015
藤 枝 市	0	0	6	1,946
掛 川 市	7	4,633	19	9,466
磐 田 市	1	110	6	3,582
浜 松 市	21	6,014	118	60,457
袋 井 市	2	480	10	4,521
牧之原市	1	140	4	2,381
計	51	29,758	223	134,131

転用用途別の主なもの					
面積 m ²	%	面積 m ²	%	面積 m ²	%
他施設用 (駐車場、資材置場等) 51,903	32	住 宅 0 47,726	29	他建設用 (店舗、一般倉庫等) 25,547	16

【報告事項】

浜松市農業委員会の鈴木要事務局長から「アメリカ農業情勢視察団参加報告」をいただき、意見交換を行った。

◇ 農業者年金相談会開く

県農業会議は、5月22日に沼津市、5月28日に浜松市、6月5日に沼津市、6月12日に清水町、6月18日に焼津市で標記相談会を開いた。

相談会では、農業者年金の加入に興味のある方、これから受給する方などの相談に応じた。

◇ 農業者年金加入推進対策会議開く

県農業会議は5月23日に伊東市、5月24日に磐田市、5月29日に裾野市、6月4日に東伊豆町、6月6日に伊豆の国市、6月7日に焼津市、藤枝市、6月8日に森町、6月14日に富士宮市で標記会議を開いた。

会議には農業者年金担当者が出席し、昨年度の加入推進活動結果と加入推進上の課題・問題点、本年度の取組みについて意見交換を行った。

◇ 新任農業委員会事務局職員研修会開く

県農業会議は5月23日、今年度新たに農業委員会事務局を担当する職員を対象とした標記研修会を静岡市内で開いた。

研修会には新任の職員等30人が出席。農業委員会制度、農業者年金制度、耕作放棄地の現状と対策、情報宣伝事業等について本会職員が、農地保有合理化事業について県農業振興公社の伊藤経営支援課長が、それぞれ説明した。

◇ 静岡県農業委員会職員協議会監査会、役員会開く

県農業委員会職員協議会は6月6日、標記会議を静岡市の県農業振興公社会議室で開いた。

監査会では、平成23年度事業報告及び収支決算についての監査を行い、監査会終了後の役員会では、役員が出席し、第62回定期総会の議案について協議した。

◇ 牧之原市農業委員研修会開かれる

牧之原市農業委員会は6月14日の定例総会終了後、標記研修会を同市役所で開いた。

研修では、「農業委員会を巡る情勢と農業委員の役割」をテーマに、人・農地プランの取組、TPP情勢、相続税課税見直し、遊休農地対策などの情勢とともに、農業委員に期待される役割について本会の遠藤事務局長が説明した。

◇ 榛原地区農業委員会協議会総会開かれる

榛原地区農業委員会協議会は6月21日に標記総会を川根本町役場の山村開発センターで開いた。

総会には、同地区を構成する牧之原市、吉田町、川根本町の農業委員長、同副会長、同事務局職員等が参加した。総会の議事終了後に情報交換会として本会の遠藤事務局長が「農業委員会系統組織をめぐる情勢について」と志太榛原農林事務所の中安技監が「耕作放棄地対策の推進について」について説明し、意見交換を行った。

◇「農業委員会の組織運営・業務に関する巡回」を実施中

県農業会議は5月14日から、「人・農地プラン」及び企業参入などについて状況を確認するため、市町巡回を実施している。必要に応じ、県農業振興課、県農林事務所、県農業振興公社職員が同席している。

「人・農地プラン」への農業委員会の関与、遊休農地指導、企業等の農業参入、適正な事務実施、全国農業新聞の普及の5つのテーマを柱に現状を聴くとともに意見交換を行っている。

これまでに5月14日には伊東市、伊豆の国市、6月8日には静岡市、川根本町、6月11日には御前崎市、菊川市、6月12日には島田市、藤枝市、吉田町、6月15日には熱海市、三島市、函南町、6月20日には裾野市、御殿場市、小山町、森町、磐田市、袋井市で実施した。今後、7月中旬までに県内すべての農業委員会を一巡する予定。



島田市の様子



函南町の様子

◇農業委員会事業推進担当者会議開く

県農業会議は6月19日、標記会議を静岡市内で開いた。市町農業委員会事務局の担当者等31人が出席した。

本年度の県農業会議の事業の具体的な取り組みについて担当者から説明したほか、農業委員会関係予算などについて県農業振興課の太田班長及び山田主事から、農地保有合理化事業について県農業振興公社の伊藤課長から、それぞれ説明を受けた。



会場の様子

Ⅲ 農業者年金のページ 「10万人早期突破・新規加入者底上げ3カ年計画」展開中

・・・本県における農業者年金の加入推進について・・・

■ 新規加入者の状況（6月（暫定））（人）

6月	
焼津市	2
島田市	1
計	3

6月（暫定）は3人となりました。平成23年度は通常加入者34人、政策支援加入者は13人でした。13人のうち家族経営協定を結び加入した方は8人と、国庫補助を受けるケースでは、家族経営協定を結び国庫補助を受けるケースが多く見受けられます。次に認定農業者で青色申告者の方となっています。夫と家族経営協定を結び妻が国庫補助を受け、加入するケースもありますので、女性の加入には家族経営協定を結び加入することも効果的です。

■ 平成23年度農業者年金加入推進活動事例（御前崎市）

御前崎市農業委員会は、農業委員と農業委員会事務局職員が戸別訪問を主に、加入推進活動を行い5人の成果を上げました。

7月19日に農業振興会で会員にパンフレットを配布し、制度を啓発しました。

加入推進を行うには、制度を知らないと加入推進ができないという意見が農業委員からあったことから、7月25日に県農業会議による農業者年金制度の勉強会を行い制度の理解を深めました。

8月から9月と12月から平成24年1月の加入推進強化月間に戸別訪問を行いました。8月19日に職員と県農業会議で4人、12月16日に農業委員、職員、県農業会議職員で3人、1月11日に職員で1人、1月12日に農業委員、職員で2人、1月17日に農業委員、職員で1人、1月19日に職員で2人、2月16日に職員で3人とその他農業委員も個別に訪問を行いました。毎月の農業委員会総会でも加入推進の働きかけを行っており、農業委員会として加入推進に取り組んでいます。

・・・ 全国農業新聞 ・・・

前月対比増加部数 上位市町

市町名	部数
浜松市	2
藤枝市	1

お知らせ

平成24年8月号の
申込・中止・変更の締切は、
平成24年7月18日（水）
となりますのでよろしく
お願いします。



情報事業の強化につ
いては皆様の協力が
必要不可欠です。

「全国農業新聞で結ぶ信頼の絆・3カ年運動」
(H23～25)に取り組もう！！

- 全国農業新聞業務は、農業委員会の情報活動
- 1週間の動きをわかりやすくコンパクトに解説
- 正確な情報は、農業委員会の仕事を進める基礎づくり

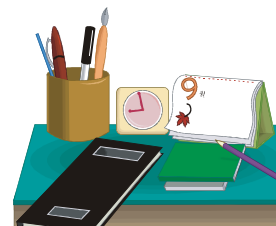


★ 農村、農業委員会の理解者は、全国農業新聞の購読仲間から

全国農業新聞は、金曜日発行の週刊紙
購読料：月600円、年7,200円（消費税込）

お申込は、お近くの農業委員会へご連絡下さい。
また、静岡県農業会議でも受け付けております。
お気軽にお問い合わせください。

V 今後の日程 (平成24年6月~7月)



- 6月 26日 農業者年金相談会 (三島市)
29日 静岡県農業委員会職員協議会・総会
(静岡市・クーポール会館)
- 7月 2日 農業者年金相談会 (富士宮市)
3-4日 農業者年金業務担当新任者研修会
(伊豆の国市 ホテルサンバレー富士見)
- 9日 農業者年金相談会 (磐田市)
17日 農業者年金相談会 (伊豆市)
20日 常任会議員会議 (静岡市・静岡中央ビル)
23日 農業者年金相談会 (島田市)
30日 農業者年金相談会 (浜松市)
- 7月下旬~8月上旬 地区別農業委員研修会 (県内3地区を予定)

発行 / 静岡県農業会議

静岡市葵区追手町9-18 静岡中央ビル7F

tel 054-255-7934

fax 054-273-4314